

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年4月18日～2016年4月24日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年4月26日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「議会」議員の自動車の爆発(16日)

・ソフミ市内でジャプア「アブハジア共和国議会」議員が自動車から降りた直後に車が爆発し、近くにいた2人が軽傷を負った。「アブハジア共和国政府」はテロ事件として捜査を開始した。

▼「外国人」への不動産売却をめぐる議論(22日)

・「アブハジア共和国議会」は、「アブハジア共和国憲法」が禁止する「外国人」への不動産売却を認める法改正について審議しないことを決定。法改正案はシャンバ「元アブハジア共和国外相」が提出していた。

【南オセチア】

▼第65回IPRM会合(20日)

・第65回IPRM会合がエルグネティで開催された。行政境界線の状況は概ね安定的と評価された。農地や復活祭の時期の墓地・宗教施設などへのアクセスを含む、行政境界線付近の住民が直面している問題について議論。

2. 外 政

▼外相の訪米(18日-22日)

・ジャネリゼ外相がニューヨークを訪問。20日、国連薬物問題特別総会でジョージア国内の薬物をめぐる状況・対策について演説。翌21日には持続可能な開発に関する国連ハイレベル会合に出席し、ジョージア政府が進める改革について演説した。

・並行してジャネリゼ外相はチリ、ウガンダ、トーゴ、ナミビアの外相、湾岸協力理事会の国連常駐代表らと会談。

▼首相のストラスブール訪問(19日-21日)

・クヴィリカシヴィリ首相がストラスブールを訪問。
・19日、ユンケル欧州委員会委員長と会談。「ユ」委員長は、欧州委員会はジョージア国民に対する無条件の査証自由化を支持するとして、「査証自由化に関してジョージアが新たな条件を求められることはない」と述べた。

・20日、ヤーグラン欧州評議会事務局長と会談。民主制、人権、法の支配の強化に向けた3か年の行動計画、2016年10月の国会選挙、被占領地域の人権状況などについて議論。「ヤ」欧州評議会事務局長は5月にジョージアを訪問する。

・21日、欧州評議会議員会議で演説。査証自由化行動計画に沿った改革を含め、ジョージア政府は欧州の期待を

越える民主改革を実施したと強調。10月の国会選挙を自由で公正な選挙にすると約束した。最も重要な問題の一つとして被占領地域を挙げ、政府は「和解のためのロードマップ」の策定に取り組んでいると述べた。

▼大統領の訪仏(20日-23日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領がフランスを訪問。フランスのオランド大統領、ラルシェ上院議長、ポコヴァ UNESCO 事務局長らと会談。

・「オ」仏大統領との会談後、「マ」大統領は記者に対して、「会談を終えて、ジョージアの未来に関する諸問題について私は更に楽観的になった。会談ではジョージアのEU・NATO加盟について議論した。仏側は、査証自由化プロセスのみならず、二国間関係に関しても、ジョージアの達成した成果を高く評価した」と述べた。

▼韓国国会議長のジョージア訪問(21日-24日)

・鄭韓国国会議長がジョージアを訪問。21日にウスパシヴィリ国会議長と会談し、両国国会間の交流・協力、経済・観光の分野におけるジョージアの可能性、ジョージア・韓国間のビジネスプロジェクトなどについて議論。両国国会間の相互理解覚書への署名が行なわれた。

・23日にはクヴィリカシヴィリ首相と会談。

▼首相と国連事務総長との電話会談(23日)

・潘基文国連事務総長が4月23日、24日にジョージアを訪問する予定と発表されていたが直前になって延期されたことを受け、23日、クヴィリカシヴィリ首相と潘基文国連事務総長との電話会談が行なわれた。電話会談で潘国連事務総長は、ジョージアは多くの国にとって良い模範であるとして、民主・経済改革におけるジョージアの大きな前進を直接に知るため、今年中にジョージアを訪問する用意があると述べた。

3. 内 政

▼ウラン売却の容疑での逮捕(18日)

・国家保安庁は、ジョージア人3名とアルメニア人3名を、ウラン238を2億ドルで売却しようとした容疑で逮捕したと発表。

▼2015年の政党の収入(19日)

・政府の資料によれば、2015年の政党の収入の総額は12,407,707 ラリ（うち10,678,948 ラリが政府の補助）。収入の多い順に統一国民運動3,251,781 ラリ、ジョージアの夢・民主ジョージア党1,426,227 ラリ、統一民主運動1,470,484 ラリ、自由民主主義者党1,014,739 ラリ。

▼報道の自由度ランキング(20日)

・「国境なき記者団」が2016年の報道の自由度ランキン

グを発表。ジョージアは世界 180 か国・地域中 64 位。昨年 69 位より上昇。

4. 経 済

▼中国工商銀行代表団のジョージア訪問(18日)

・中国工商銀行 (ICBC) および天辰工程有限公司 (TCC) の代表団がジョージアを訪問。クムシシヴィリ経済・持続的発展大臣、ヴァリシヴィリ・エネルギー次官らと会談し、ジョージア政府と ICBC がインフラ、エネルギー、観光、金融の分野で協力していくことで合意した。

▼2016年第1四半期の貿易統計(19日)

・国家統計局が 2016 年 1 月～3 月の貿易統計を発表。貿易額 2,145 百万ドル (前年同月比 7%減)、輸出額 443 百

万ドル (同 12%減)、輸入額 1,703 百万ドル (同 5%減)。

・貿易相手国の内訳は EU 諸国 33%、CIS 諸国 27%。国別では貿易額の多い順にトルコ、アイルランド、ロシア、中国、アゼルバイジャン、ドイツ、アルメニア、ウクライナ、イタリア、ブルガリア。

・日本との貿易高は輸出額 112.0 千ドル、輸入額 38,484.0 千ドル。

▼国立銀行による米ドルの購入(20日)

・国立銀行は外貨市場で 20 日に 1 千万米ドル、翌 21 日に 2 千万米ドルを購入。3 月 17 日以降の米ドル購入額は総額 5500 万ドル。

・3 月末時点の外貨準備高は 24 億 5600 万ドル (前月末比 3100 万ドル増、前年同期比 400 万ドル増)。